

業務仕様書に係る第2期（業務期間：平成30年度～令和4年度）から第3期（業務期間：令和5年度～令和9年度）にかけての変更点等

※ ここに掲載している変更点はあくまで主な事項だけであり、この他にも文言や言い回し等の変更があります。

※ 「変更内容概要」に「明文化」と記している事柄は新規事項ではなく、第2期で対応している事柄を明文化したものになります。

	変更内容概要	仕様書掲載頁	第3期仕様書 記載内容	第2期仕様書 記載内容
1	インボイス制度への対応を追加	P8 第2節 調定請求業務 2 実施方法等の概要	(10) 各請求書及び領収書等は、消費税の適格請求書等保存方式（インボイス制度）導入までに、それに対応したものとすること。	【無し】
2	スマートフォンアプリ決済への対応を明文化 ※ 各決済会社はコンビニ収納の店舗の一つとしての位置づけ	P9 第3節 収納業務 2 実施方法等の概要	(6), (7) <u>コンビニエンスストア収納及びスマートフォンアプリ決済収納手数料</u> ～	(6), (7) コンビニエンスストア収納手数料～
3	井戸汚水排除・特殊営業に係る附帯業務の一部を明文化	P13 第6節 受付業務 1 業務の内容	(11) 井戸汚水等排除開始届、休止届、廃止届及び再開届の受付並びに処理 (12) 特殊営業に係る申請の受付及び処理	【無し】
4	メーターボックス内漏水修繕業務を削除	【第2期仕様書掲載箇所】 第10節 その他附帯業務 3 メーターボックス内漏水修繕業務	【削除】	メーターボックス内漏水修繕業務は、メーターボックス内で発生した漏水を修繕する業務であり、漏水が発生した時は速やかに修繕し、委託者に報告すること。

	変更内容概要	仕様書掲載頁	第3期仕様書 記載内容	第2期仕様書 記載内容
5	「貯蔵品管理業務」を新たに追加	P17 第10節 その他附帯業務 5 貯蔵品管理業務	<p>貯蔵品管理業務は、水道事業に使用するため発注者が調達した水道メーター及び材料（以下「貯蔵品」という。）を管理する業務であり、その内容は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>なお、本業務に関する詳細は「貯蔵品管理業務手引き書（以下「手引き書」という。）」によるものとする。</p> <p>(1) 貯蔵品の在庫管理に関すること (2) 貯蔵品の入出庫に関すること (3) 貯蔵品の調達に必要な資料の作成に関すること (4) 貯蔵品を保管する倉庫内の整理等業務遂行のため必要な事項に関すること</p>	【無し】
6	「公共下水道接続調査業務」を新たに追加 ※ 通常の電子計算業務、検針業務の範囲内で行うもの	P17 第10節 その他附帯業務 6 公共下水道接続調査業務	<p>公共下水道接続調査業務は、公共下水道処理区域内で公共下水道へ接続していない家屋等の有無を調査する業務であり、その内容は、次に掲げるとおりとする。</p> <p>(1) 発注者からの求めに応じ、随時、公共下水道処理区域内で下水道使用料が未賦課となっている家屋等を抽出し、データを提出する。 (2) 検針業務の履行過程で接続状況の現地調査を行い、その結果を発注者に報告する。 (3) その他、関連業務が発生した際、発注者と受注者で協議のうえ、対応する。</p>	【無し】

	変更内容概要	仕様書掲載頁	第3期仕様書 記載内容	第2期仕様書 記載内容
7	「改善勧告」の項目を削除	【第2期仕様書掲載箇所】 第5章 業務評価 3 改善勧告	【削除】	3 改善勧告 委託者は、業務審査の結果、委託業務の履行状況が次に掲げる状況にあると認められるときは、受託者に改善勧告を行うものとし、受託者は改善勧告に従い、改善内容及び期限等を明記した改善計画書を委託者に提出し、速やかに改善しなければならない。 (1) 調定額及び収納率を当該年度3月締めとしたときの収納率が、水道料金については、90.41%、下水道使用料については、81.84%に満たないとき。 (2) 業務水準を満たしていないとき。
8	最終年度の目標収入率の設定を変更	P22 第5章 業務評価 3 目標収入率	令和5～8年度については、調定額を当該年度3月、収入額を翌年度9月締めとしたときの各年度における水道料金収入率と下水道使用料収入率の平均を99.80%以上とすることを目標とする。 令和9年度については、 <u>調定額を同年度8月、収入額を同年度2月締めとしたときの水道料金収入率と下水道使用料収入率の平均を99.80%以上とすることを目標とする。</u> <u>但し、令和9年9月以降についても前年同期の収入率を下回らないよう努めるものとする。</u>	平成30～33年度については、調定額を当該年度3月、収納額を翌年度9月締めとしたときの各年度における水道料金収納率と下水道使用料収納率の平均を99.80%以上とすることを目標とする。平成34年度については、前4年間の実績を下回らないことを目標とする。

	変更内容概要	仕様書掲載頁	第3期仕様書 記載内容	第2期仕様書 記載内容
9	発注者からの貸与品の中に、開閉栓受付確認用パソコンとレジスターを明文化	P23 第6章 経費負担 1 経費負担	①発注者が提供・貸与するもの ・パソコン：埼玉県共同システムを通じて行う開閉栓受付用1台 ・レジスター：営業所で使用する1台	【無し】
10	スマートフォンアプリ決済への対応を明文化	P23 第6章 経費負担 1 経費負担	②発注者が負担（交付・支給）するもの 収納手数料：③コンビニエンスストア・スマートフォンアプリ決済収納代行手数料	②発注者が負担（交付・支給）するもの 収納手数料：③コンビニエンスストア収納代行手数料
11	第10章 その他に「その他の業務提案」を新たに追加	P28 第10章 その他 7 その他の業務提案	受注者は、本仕様書に定めのない事項についても、契約した委託料の範囲内で、市民サービスの向上、収入率の向上並びに社会情勢の変化への対応等を目的とした業務提案を、適宜、発注者に対して行うものとする。	【無し】

【参考】第2期公募時点との業務量等比較用

上下水道局営業業務の現状（第2期公募時点）

I 給水区域の概要

No.	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	行政区画面積 (km ²)	109.16	109.13	109.13
2	行政区区域内人口 (人)	348,723	349,388	350,457
3	行政区区域内戸数 (戸)	148,653	150,395	152,496
4	給水人口 (人)	348,654	349,317	350,394
5	給水戸数 (戸)	148,602	150,344	152,452
6	水道普及率 (%)	99.9	99.9	99.9
7	下水道普及率 (%)	85.2	85.3	85.3

※各年度4月1日現在

II 業務実績

1 検針業務

No.	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	年間検針件数	1,020,165	1,035,778	1,046,642

【参考】

月間平均検針件数（平成27年度実績）

①偶数月 94,958件

②奇数月 79,482件

2 調定請求業務

No.	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	年間上水調定件数	940,245	952,401	964,475
2	年間下水調定件数	814,027	824,544	837,196

【参考】

料金徴収方法と内訳実績比率

徴収方法	平成25年度	平成26年度	平成27年度
口座制（口座振替）	74.44%	75.19%	74.79%
納付制（納入通知書）	25.56%	24.81%	25.21%
うちコンビニ収納比率	19.69%	19.50%	20.22%

3 収納業務

区分	調定年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度
	活動年度				
上水道	平成25年度	調定額(千円)	5,792,012		
		収納額(千円)	5,330,988		
		収納率(%)	92.04		
	平成26年度	調定額(千円)	5,792,012	5,819,263	
		収納額(千円)	5,786,119	5,355,255	
		収納率(%)	99.89	92.02	
	平成27年度	調定額(千円)	5,792,012	5,819,263	5,851,466
		収納額(千円)	5,786,710	5,814,998	5,379,771
		収納率(%)	99.90	99.92	91.93
下水道	平成25年度	調定額(千円)	3,405,014		
		収納額(千円)	2,820,494		
		収納率(%)	82.83		
	平成26年度	調定額(千円)	3,405,014	3,462,430	
		収納額(千円)	3,400,050	2,867,149	
		収納率(%)	99.85	82.80	
	平成27年度	調定額(千円)	3,405,014	3,462,430	3,486,105
		収納額(千円)	3,401,108	3,458,570	2,895,471
		収納率(%)	99.88	99.88	83.05

※各年度3月締め

【参考】

①現年度収納率

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
水道料金(%)	99.83	99.85	99.89	99.91	99.89
下水道使用料(%)	99.64	99.62	99.79	99.85	99.83
平均収納率(%)	99.73	99.73	99.84	99.88	99.86

※調定額を当年度3月、収納額を翌年度9月締めとしたときの収納率

②年度末収納率

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
水道料金(%)	89.83	91.03	92.04	92.02	91.93
下水道使用料(%)	79.88	80.18	82.83	82.80	83.05

※調定額及び収納額をとともに3月締めとしたときの収納率

③口座再振替通知発行件数 年間21,662件(平成27年度実績)

4 滞納整理業務

No.	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	督促状	60,315	47,797	47,946
2	給水停止予告件数	9,199	9,871	9,635
3	給水停止執行	2,858	3,323	3,483

5 精算業務

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間精算件数	13,811	13,398	13,982

6 受付業務

(1) 開閉栓

No.	項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1	年間開栓受付件数	20,334	20,769	23,296
2	年間閉栓受付件数	19,021	19,460	21,862

【参考】

① 届出方法別年間件数（平成27年度実績）

項目	Web※1	事務所窓口	事務所電話	営業所窓口	営業所電話
開栓件数	316	82	16,933	867	2,083
閉栓件数	337	98	16,514	639	1,559
項目	郵送	現場	その他※2		
開栓件数	447	192	2,376		
閉栓件数	189	38	2,488		

※1 川越市ホームページからインターネットを介しての届出。

※2 FAX又は電子メールによる届出。

② 繁忙期における届出件数（平成27年度実績）

項目	平成27年4月	平成27年5月	平成28年2月	平成28年3月
開栓件数	2,085	1,682	2,278	3,331
閉栓件数	1,818	1,567	2,166	2,734

(2) 窓口支払い件数（平成27年度実績）

項目	年間窓口支払い件数	H27年4月支払い件数	H28年3月支払い件数
営業所窓口	11,612	894	881
水道局窓口	4,946	419	318

【参考】

諸証明発行件数（平成27年度実績） 61件

(3) 入力業務（平成27年度実績）

項目	新規入力件数	口座入力件数
年間入力件数	2,056	9,443

【参考】

調定更正入力件数 年間約240件

7 井戸等関連業務

(1) 井戸関連

	件数	排除量 (m ³)
単独井戸	45	295,569
上下併用井戸	202	1,789,054
合計	247	2,084,623

※平成26年度実績

(2) 特殊営業に係る下水道汚水排除量認定

①概要

クーリングタワー等の使用により使用水量と汚水排除量に著しく差異が認められる場合、申請に基づき、蒸発分の汚水排除量の減量を認定している。減量分の算出は事業所からの報告書提出か検針により行っている。

②認定件数

30件（平成27年3月時点）

8 鶴ヶ島区域等関連業務

(1) 鶴ヶ島市松ヶ丘、南町、五味ヶ谷の一部

①概要

- ・水道料金 …… 坂戸、鶴ヶ島水道企業団が検針及び賦課徴収を行っている。
- ・下水道使用料 …… 坂戸、鶴ヶ島水道企業団から検針データの有償提供を受け、そのデータに基づき本市で賦課・徴収を行っている。

②年間調定件数

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間調定件数	19,320	21,363	21,622

(2) 富士見工業団地（川越市竹野地区）

①概要

- ・水道料金 …… 本市が検針及び賦課徴収を行っている。
- ・下水道使用料 …… 本市が坂戸、鶴ヶ島下水道組合に検針データを有償提供し、そのデータに基づき坂戸、鶴ヶ島下水道組合が賦課・徴収を行っている。

②年間調定件数

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
年間調定件数	81	78	79

(3) 日高団地（川越市笠幡の一部）

概要

- ・水道料金 …… 本市が検針及び賦課徴収を行っている。
 - ・下水道使用料 …… 日高市が検針及び賦課徴収を行っている。
- ※日高市が検針を行っているため検針データは提供していないが、毎月対象地区の水栓の移動一覧を作成し、無償で日高市に提供している。

9 メーター交換関連業務

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度
検定満期メーター交換対象件数	24,267	21,098	22,781

※ 交換作業は本委託業務に含まない。対象メーターの抽出（データ及び一覧表）及び対象者への通知ハガキの印刷が対象。